

61

B!-CO

Build-communication

2019.01



ふじさわ <天白区植田山>

「ふじさわ」とは…

「庭屋一如」をコンセプトに飛騨の職人集団「チーム惣四郎」と「ビルド会」に属する名古屋の職人集団が心をつなげて完成した寿司店。 ※庭屋一如(ていおくいちによ): 庭と建物の調和がとれて一体になるさま。

■ 「ふじさわ」着工までの物語



何年か前、当社代表大上の友人で銘木を扱う鈴木さんから「いいカウンターの入っている寿司屋さんがあるから見てきたら?」と教えて頂き、代表と私(設計部・森)で見に行った。住宅街のこんな所で、お店とは思わず2度ほど通り過ぎて「ふじさわ」と書かれた小さな看板を発見。本当は予約をして行くべきお店という事も知らず、突如訪れた2人をお店の

大将と女将さんはそれでも怪訝な顔をしつつ迎え入れて下さった。

昼食を終え、出てくる頃にはすっかり意気投合。物造りに対する姿勢や考え方がこんなにも合う方々に出会えるのかと身も心も満腹して、高山の当社保養所「惣四郎」写真集を進呈して帰ってきた。

その後、何度か公私に渡って利用させて頂くうち、「ふじさわ」さんから移転か改修かを検討し始めていると聞かされていた。

当社代表も私もお店の工事に関わる気は一切なく、「いい店ができるといいね。」などと言っているうちに大将から「今の場所でお店を改修したい。ビルドさん、受けてもらえますか。」という依頼が代表大上に届いた。

大将に当社保養所「惣四郎」を実際に見て頂き、その上での大上の返答は「“チーム惣四郎”であれば大将の思いをかなえられます。しかし、棟梁の井口さんが名古屋に来てやってくれるという返事がないと受けることはできません。」というものであった。井口棟梁は惣四郎竣工後、現代の名工に選出された御歳76歳。名古屋での仕事を受けて頂けるのか否か、「ふじさわ」を創る機会を頂いて東海ビルドが受けるか否かは井口棟梁の胸先三寸に託された。



井口棟梁にこの旨を伝え、じっと待つこと3か月。

棟梁の「やらせて頂きます。」の言葉ですべてが一気に動き出した。

惣四郎に集合した「チーム惣四郎」の面々。

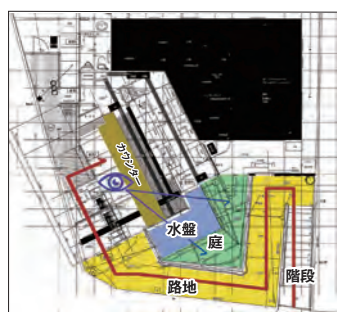
棟梁・井口氏が腰を上げたという事で、他のメンバーは当然のようにここにいる。

「ふじさわ」を創る意義を当社代表と確認してやっと計画に入ることとなった。

■ 計画



元々のお店は階段を上ると庭を見ながら玄関に着き、そこから廊下を経てカウンター席に入る構成となっていた。



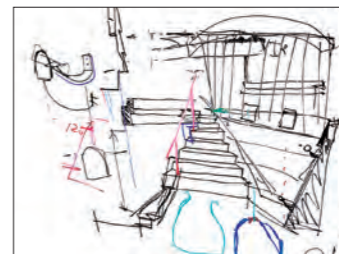
お話しを頂いた瞬間に浮かんだのが、「路地」を経て玄関に入り、長い廊下を見ながらカウンター席に入る構成。

路地からは塀を立てて庭を見せず、客席で初めてカウンターと同じ高さの水盤越しに庭を見せる。



こういったスケッチやパースで検討しつつ、チーム惣四郎にイメージのみ伝える。

■ チーム惣四郎の動き



こういったイメージを元に誰がどこまでを受けもつかを決め、各自でその作業内容をデザインとともに詰めてチームに戻す。戻された内容をチームで練って各自に再度戻す。

これを繰り返すことで他業種からのアイデアやコラボレーションが自然に生まれ、棟梁の指揮のもとに各自が「成すべきこと」をクリアにさせていく。「成すべきこと」をどう料理するかは各自の能力次第。これは…厳しい。協力という名の競争。

チーム惣四郎の存在意義はこの部分に集約される。

■ 転換



ある日、屋根のイメージを棟梁に伝えるにあたり、村野藤吾の名作「京都都ホテル佳水園」の写真を見てもらった。葺甲(みのこう)というのだが、屋根が端部で折れ下がって棟から軒にかけて徐々に消えてゆく屋根。この屋根を見た棟梁は建物を高山古民家風から数寄屋造りへと一気に転換してしまった。我々には何も告げず、我々がこれに気づいたのは軒が生まれ、数寄屋の景色が出現してからだった。

■ 完成へ



殿垣左官



井口氏の愛弟子・藤本大工



田中铁工の「鉄花壇」



井口棟梁



木組みや仕口などめったに見ることができない「教材」できている現場。当然、担当監督・奥村を講師に東海・ビルド伝統工法勉強会が行われる。



最後に松井氏率いる門造園が庭を創り上げ、名古屋の白井竹店とコラボレーション。

河本設備、土岐電気といった名古屋でいつも東海・ビルドを助けてくれているメンバーと一緒に、3月から9か月を経て12月に完成した。

“庭屋一如”



裏(ケ)から晴(ハレ)への門



左官の壁、鉄の花壇、石の階段



路地への門



苔と石の路地



数寄屋軒をぐるぐるの玄関



板壁と左官で荒らした玄関



大将が寿司を握る姿を「舞い」ととらえ、背景は檜の鏡板。能舞台から井口棟梁が引用した。



奥の廁



格子戸を開けると洞床



廊下の奥の格子戸



一直線のカウンターがそのまま水面につながる。庭屋一如の空間に巡り合う。



長久手フラッツ

〈長久手市喜婦嶽〉

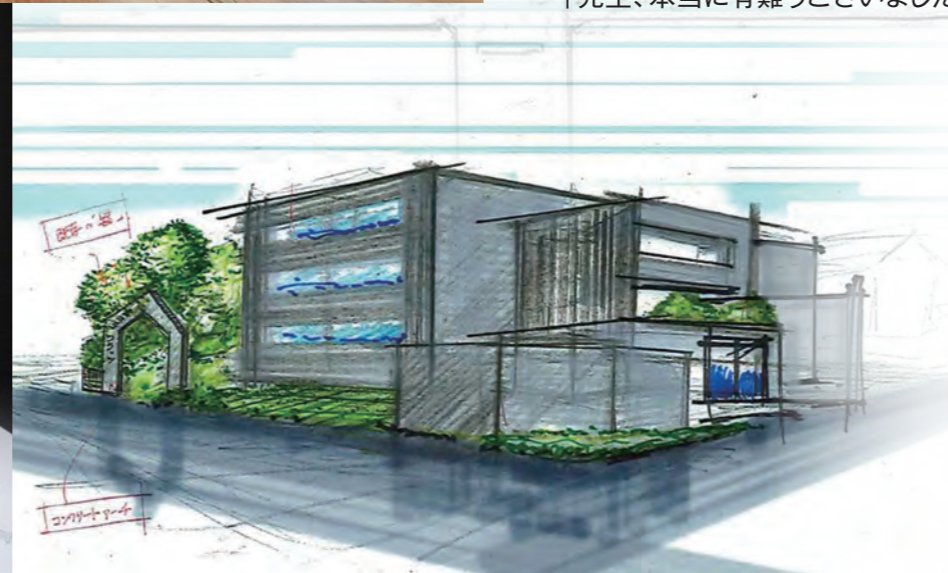
設計：東海・ビルド一級建築士事務所 施工：株式会社東海・ビルド



「…せ、先生!!」
それは突然訪れた運命の再会。
営業・松岡と共にこの日、初めて計画案を提出するため私、設計の井上は某マンション見学会の会場へと足を運びました。
そこでお会いしたオーナー様…
営業資料を見返してみるとお名前も同じ。資料には丁寧に“美術関係の先生”との記載もある!!
「…せ、先生!!昔、専門学校で先生からデッサンを教えて頂いた井上です!!」
「…?」
「…あ、ああ…なんか見た事ある顔だなっと思ったよ!」

先生の優しさは20数年経ってもご健在。
そんな先生との再会を機にスタートしたこのプロジェクト。
先生の奥様とも一緒に毎回の打合せは楽しく、時には…楽しく、とにかく明るく進みました。

築30数年のワンルームマンションを建て替える計画でしたが、初めて現場に来た時に気になったコンクリートアーチ。
「長久手フラッツ」の文字が刻まれた、既存のこのアーチを解体する気にはどうしてもなれず、残す事をご提案。
先生から
「このアーチは当時、私が書体をデザインしたものだよ。」との一言。
(撤去する提案をしなくてよかった…)
そんな思い入れがある書体を今回の建物にも採用し、無事、竣工を迎えました。
「先生、本当に有難うございました。」



- 建物名 — 長久手フラッツ
- 所在地 — 長久手市喜婦嶽
- 構造 — 鉄筋コンクリート造3階建
- 面積 — 敷地面積/585.55㎡(177.12坪)
建築面積/201.48㎡(60.95坪)
延床面積/611.17㎡(184.87坪)



第17回 建築見学ツアー 建築を体験しよう! IN 近江八幡のご報告

今回の建築見学ツアーは2度目の近江八幡へ行って参りました。2度目の理由、それは、佐川美術館の茶室をもう一度見たい! 良い建築は何度も見たい! 素晴らしい秋晴れの中、とても気持ち良いツアーとなりました。



こちらが茶室の外観。内部は撮影禁止の為、写真はありませんが、建築見学ツアーで二度も訪れる茶室です。期待以上のものが待ち受けておりました。何とかこの茶室の雰囲気をお伝えしたいので、森所長のオノマトペ(擬声語)でお伝えしましょう。
[しんしん]...「さやさや」...是非行ってみましょう!



1 佐川美術館 美術館前にて記念撮影! 綺麗な青空に切妻屋根が映えます。

いつもご参加頂きありがとうございます。今回は22名の方に参加して頂きました!



2 喜兵衛

近江八幡の郷土料理を楽しめる「喜兵衛」。こちらも前回の建築見学ツアーで訪れた食事処。「地元のおばちゃんたちが丹精込めてつくる母の味」を堪能しました。



3 水郷めぐり

お食事の後には、日本一遅い乗り物に乗って水郷めぐり! 心地良い陽気の中、心地良い乗り物でゆったりとした時間を満喫しました。



5 ラ コリーナ近江八幡

近江八幡のツアーの締めはやはりここ。近江八幡のグッゲンハイムと言っても過言ではないでしょう。最早説明不要の有名建築家、藤森照信氏による設計。前回の建築ツアーで訪れた時はメインショップのみでしたが、カステラショップやカフェ、フードガレージ等大幅にスケールアップしておりました。

皆様ここで土産を購入されて、大満足!

皆さま、この度も建築ツアーにご参加頂き、ありがとうございました。次回のツアーもお楽しみに!



建築研修 in 北京

日頃から代表の大上より、「建築は本で読むものじゃない。実際に見て空間・質感を感じ、また土地の匂いや風を感じなさい。」と言われております。

…ということで実際に建築を見るべく、研修で北京に行かせて頂きました。今やアメリカと肩を並べる超大国「中国」。世界の覇権をかけて争っている最中、このタイミングで視察に行けることはとても貴重な事だと思っています。世界情勢が大きく変化する中、「今の」中国をお伝え出来ればと思います。



天安門広場



ザハ・ハジド: 銀河SOHO



隈研吾: 三里屯VILLAGE



AREP: 首都博物館

中国は建国・文化大革命の中で90%の伝統・文化が失われ、経済開放された1978年からリスタートしました。現代建築の歴史が浅い国とも言えます。上段は海外建築家が設計した建物。下段は中国人建築家が設計した建物。北京オリンピックが開催された2008年当時、世界的建築家に対抗出来る国内の建築家は少なく、また中国の政策を背景に海外建築家が目を引く「アイコン建築」と呼ばれるものを建て続けます。「外国人建築家の実験場」とも揶揄されました。



リシャオダン: Liyuan Library



798芸術区内の巨大工場のリノベーション事例: 設計者自ら案内して頂きました。



微胡同エリアのゲストハウス: 外観は古い民家。中に入ると驚きの空間がある。



北京ダック、火鍋、北京宮廷料理と北京料理を存分に味わいました。上記写真のオフィスの設計者、オーナーともに食事。貴重な話を聞くことができました。



2012年にプリツカー賞を受賞したワン・シューを皮切りに中国古来の考え方を取り入れた建築や、実験場時代に培った技術や発想を発揮する中国人の建築家が活躍しています。コピーや大量生産のイメージを持つ中国でしたが、現在は「上質」への変化を遂げようとしている中国の姿が垣間見れました。

詳しくはブログをCheck it out!!



東海・ビルドが提案するデザイナーズ賃貸マンション 完成実例見学会のご案内



プライム山中

名古屋市昭和区山中町1-40-1
RC造3階建／9戸(2LDK、3LDK)

2019.2/8(金)～2/10(日)



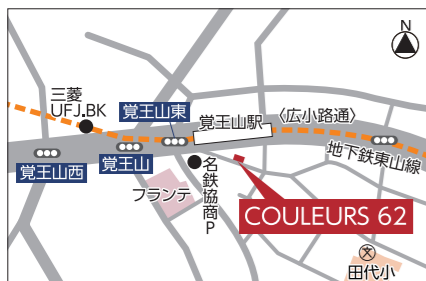
地下鉄川名駅から程近い閑静な住宅街。特殊な敷地形状に合わせて建物を雁行させ、最大限の床面積を確保した3階建てマンション。建物の構成は2LDKと3LDKの複合タイプ全9戸。雁行プランが立体的な外観を造り、凹凸によって生まれる陰影が加わり、建物全体の表情を更に豊かにしています。各住戸には、コンクリート打放しの壁と折り上げ天井(間接照明)でシンプルに仕上げた内装にアクセントを与えています。



COULEURS 62

名古屋市千種区末盛通1-27-17
RC造4階建／貸店舗2軒・5戸(1R、1LDK)

2019.2/22(金)～2/24(日)



覚王山駅徒歩1分という好立地に建つ店舗併設マンションです。幅員4メートルを切る路地のような前面道路に面するため、建物名はCOULEURS62(クルール ロジ)です。建物の構成は、1階に2つの店舗、2階に2つの住戸、3・4階は3つのメゾネット住戸になっており、シンプルな内装にオーナー様を選ばれた小物や設備が映えます。真っ白な外壁が特徴的な外観は、前面道路斜線の制限の中で、徐々にセットバックしながらも凹凸を作ることで陰影を出しています。また、雨の日の不便さよりも青空の気持ち良さを優先した開放的な共用部分も見どころです。

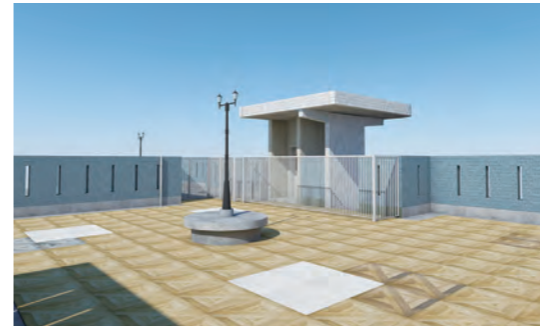
随所にこだわりをもった、個性豊かなデザイナーズマンションが完成、順次完成実例見学会を開催致します。オーナー様とビルドスタッフが「夢実現」をテーマに作り上げた建物を是非、現地にてお確かめ下さい。

※開催日には各現地にてスタッフがお待ちしておりますが、事前にご連絡頂きますとスムーズにご案内させていただきます。また、天候等の都合により開催日が変更する場合があります。お気軽にお問い合わせ下さい。

(仮)新守山プロジェクト

名古屋市守山区新守山1702
RC造5階建／15戸(2LDK)

2019.2/22(金)～2/24(日)



今までの賃貸住宅の概念を超える、愛犬との生活に特化した共生型マンションです。このマンションは①ドッグ共生住宅 ②ワンランク上の設備・仕様 ③安心・安全 の三本柱のコンセプトで計画を進めてきました。

①に関しては屋上にドッグランを設けるのと共に、室内も愛犬にとって滑りにくい床の選定等、細やかな配慮を施しています。

②も床暖房、食洗器を標準装備すると共に、当マンション独自の電気自動車充電システムを計画しました。非接触キーの採用など、見所盛り沢山の建物です。



べるびれっじ三郷

尾張旭市三郷町中井田138
RC造4階建／12戸(1LDK、2LDK)

2019.3/8(金)～3/9(土)



三郷駅に程近い立地の賃貸マンション。3階案から5階案までいくつも検討した結果、一番バランスの良い4階建てのマンションになりました。賃貸部分は2LDKと1LDK複合タイプの全12戸。

外観は、コンクリート打放しのフレームとグレーの外壁に、オーナー様より支給頂いたタイルがアクセントになっています。屋内はシンプルな内装に天井と壁のコンクリート打放しが映えます。





謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は格別なご高配を賜り、誠に有難く御礼申し上げます。

昨年発足した「品質管理部」。お客様の大事な建物を完成後も品質を維持する事、予期せぬ不具合を改善する事、原因を追求し設計図面や施工に反映する事でより品質の高い建物を提供出来ると考えます。

昨年も様々な建物を建築させて頂きました。空中回廊を施した住宅や飛騨の匠の手仕事を体現した店舗など多岐に渡ります。お客様の想い描く「感性」、その想いを造り手が感じ取り、カタチにする「感性」の融合の結晶が数多く生まれました。

弊社の取り組みの一つとして、建築研修があります。様々な建築に触れ合うことでデザインや思考を養うのが目的です。そこで培った思考を建物に反映させてお客様に共感、採用頂いています。建築に携わるものとして、これほど幸せなことはありません。

一人一人のお客様に感謝の気持ちと向上心を忘れずに23年目の歩みを進めてまいります。

末筆となりましたが、皆様の益々のご健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げます。

代表取締役 大上 功

新年明けましておめでとうございます。

本年最初のBI-coになります。

昨年は平昌オリンピック、サッカーW杯とスポーツの祭典が目白押しでした。

早いもので来年には東京オリンピックが開催されます。その後リニア開通、さらには2025年に大阪万博開催と三大都市にて景気の動向を左右する大きな出来事が起こります。

また10月には消費税10%が導入されます。建築資材や人件費の高騰、そして消費税増税と昨年以上に大きく変化する一年となりそうです。

今年に入り2月、3月とマンション経営見学会がいくつか予定されています。

弊社の目指す差別化や価値観を少しでも発信出来たらと考えております。また建物お引渡しの際にはオーナー様は勿論、ご入居頂く方にも安心してお住まい頂ける様に施工を心掛けていきたいと思っております。

建物を通じて人と人との繋がりがや感動を共有出来る企業づくりを目指して本年も歩みを進めたいと思っております。どうぞ本年も宜しくお願い致します。

TOKAI-BUILD NEWS 「BI-co」編集部



株式会社 東海・ビルド

特定建設業 知事(特-27)第49209号 宅地建物取引業 知事(4)第18792号

東海・ビルド一級建築士事務所 住宅性能保証制度登録店

〒465-0008 名古屋市名東区猪子石原一丁目1307番地

☎ 052-772-9100 (代)

<http://www.tokai-build.com>
E-mail eigy@tokai-build.com

東海・ビルド | 検索